



# 浦口こうてんの 県政報告

発行:浦口こうてん事務所 〒641-0045 和歌山市堀西1-10-14  
TEL:073-424-4860 FAX:073-424-3733  
E-mail: mail@kouten-u.jp 平成30(2018)年1月 Vol.11  
URL: http://www.kouten-u.jp

## 知事メッセージ

### 県民の皆様へ

#### 健康づくり県民運動

和歌山県は、今度の長期総合計画で健康長寿日本一をめざしています。実は前の長期総合計画でもそう書いていたのですが、結果はそれほど遠いものでした。他県に比べて寿命もそう長くないし、また、年をとって介護サービスのお世話になるのがかなり早い方県であります。ということは、早く健康を害しているということです。

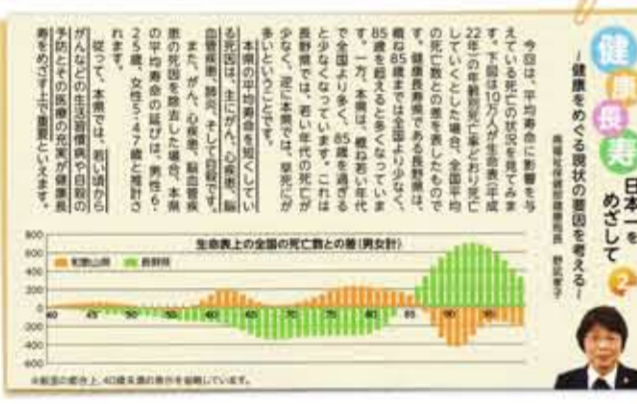
和歌山県は高齢化率の高い県ですが、お年寄りでも元気に生き生きと長生きができれば、高齢化自体は何も悪いことではありません。健康でなくなるのがいけないのです。長野県は、かつて健康寿命の短い県でした。長い冬こたつに入って野菜漬など塩分の高いものを食べているからだと言われ、それが原因で健康寿命の短い県でした。長い冬こたつに入って野菜漬など塩分の高いものを食べているからだと言われ、それが原因で健康寿命の短い県でした。長い冬こたつに入って野菜漬など塩分の高いものを食べているからだと言われ、それが原因で健康寿命の短い県でした。

和歌山県でも一昨年から同様の健康推進員制度を導入し始めました。さらに今年から運動の習慣をつけて、さらに健康増進につとめようとしています。しかし、運動をしようと言っても、私もそうですが、中々できません。何か動かないと。しかも地域ぐるみで皆が運動する励みになるようなしなかけを作らせない、中々進まないと思いませんか。

そこで、今年2つのしなかけをまもなくスタートさせます。1つは自治会単位で運動ポイントをとります。皆でラジオ体操したら何点、町のおおそうじの努力率をしたら何点という具合です。そして住民1人当たりポイントの高い優良自治会を表彰します。いわば団体戦です。2つめは、個々の人がスマホに登録して1日8,000歩歩いたら1ポイントというようにポイントデータが県のサーバーにたまるようにして、これまたポイントの多い人は、メダルの授与であります。いわば個人戦です。

もうじき制度ができますので、皆さんふるって参加しましょう。そして運動を通して、いつまでも元気で暮らしましょう。

和歌山県知事 仁坂 吉伸  
(傍線:編者)



「県民の友7月号」(平成29年7月号) 県政最前線「みんなで運動! みんなで健康!」仁坂知事メッセージ 同誌・野民健康局長「コラム」

## 人口激減・超高齢先進・要介護認定率全国連続(平成26、27年)第1位… 和歌山県が本気で動き出した!

### 2031年に“なにわ筋線”完成で、和歌山は…『扇風機の裏側』から『掃除機の吸引口』に!?

新大阪一梅田一難波一関空をつなぐ「幻の新線」といわれ約30年前から計画がありましたが、絶対に出来ないと言われていた「なにわ筋線」が、大阪府、大阪市、JR西日本、南海電鉄の4者の協議により、いよいよ着工することが決まりました。思い起こせば20数年前に開港するとき「和歌山は所詮『扇風機の裏側』に…」と揶揄され、事実現までも和歌山一関空間の直通電車がなく、そのような結果になっています。更に「なにわ筋線」の開通によって大阪がより便利になり、和歌山から若者が今まで以上に流出、つまり「掃除機の吸引口」になるということを、浦口議員は「和歌山の更なる危機!」であると議場で訴えました。

### 「和歌山の猛牛」(裏面資料⑤)

日本経済新聞(H28.12.5)  
浦口議員の早稲田大学日本法部の一年後輩で、アサヒビール(株)の平野伸一氏が、浦口議員と学生時代の思い出を日本経済新聞の「交遊抄」に寄稿しました。この文章を紹介しながら、ビール業界3位から1位に引っぱり上げてきた平野社長の情熱を紹介し、それを見習い浦口議員も「健康長寿日本一わかやま」をめざす県政をリードしていく覚悟を述べました。

- ### その他
- 「ラジオ体操指導員324人」について
  - 「わかやま健康と食のフェスタ」について
  - 「健康推進員」について
  - 「フレイルチェック」について(裏面資料②③)
  - 「野菜フェスタ」について
  - 「健康長寿日本わかやま実践リーダー」について(裏面資料①)他
- 詳しくは和歌山県議会HP (H29.2.9月定例会)



## 健康長寿日本一わかやまへ本格始動!!

浦口議員は、全国的に見てトップクラスのスピードで進む「人口減少」と「高齢化」、その上「要介護認定者」が増大する和歌山県で、いま一番必要なのは、県民一人ひとりが、健やかに長生きできる社会づくり、であると考え、平成24年の9月定例会より連続11回(2回)6年間に渡り質問と政策提案し、それらを実現させてきました。

### 和歌山市の「介護保険料金基準額」は、全国47中核市(人口20万人以上)で1番高い!

「健康長寿」の3要件といわれているのが「運動」「栄養」「社会参加」ですが、浦口議員は特に、和歌山県民が「運動」不足ということに注目し、ラジオ体操の先進地である東京都墨田区、埼玉県鶴ヶ島市を訪ね、平成25年2月議会会でラジオ体操指導者を育成することを提案。それを受けて当局は平成26年度にラジオ体操指導者を324人育成しました。更に「ウォーキングポイント事業」を求められています。

## 浦口こうてんの日常活動

「健康長寿日本一わかやま」実践リーダー・和歌山市地区別配置図(案)

Table with columns for region (No, 地区), population (人口), and various health indicators (民生児童委員, 保健司, etc.). It lists 42 regions across the city of Wakayama.

平成29年9月定例会質問資料① 同資料② 平成29年9月定例会質問資料③

千葉県柏市フレイルチェック説明文

Informational page about the Chiba City Frailty Check. It includes a diagram of the '3 pillars of health' (exercise, nutrition, social), a list of 11 check items, and photos of people participating in the program.

中核市別 介護保険料基準額

Table showing nursing insurance fee standards for core cities. Wakayama City is ranked 1st with a standard of 6,600 yen.

和歌山県下の市町村別 介護保険料基準額

Table showing nursing insurance fee standards for municipalities in Wakayama Prefecture. Wakayama City is highlighted with a standard of 6,400 yen.

Table showing nursing insurance fee standards for municipalities with a population of 65,000 or more in Wakayama Prefecture.

平成29年2月25日(月) 読売新聞

Article titled '運動で生活習慣病減らせ' (Reduce lifestyle diseases with exercise). It discusses the benefits of exercise and mentions the 'Point' system for residents.

Large article titled 'アサヒ平野社長との友情' (Friendship with Asahi Chairman Hirano). It features a photo of the two men and a detailed text about their long-standing relationship and shared interests.